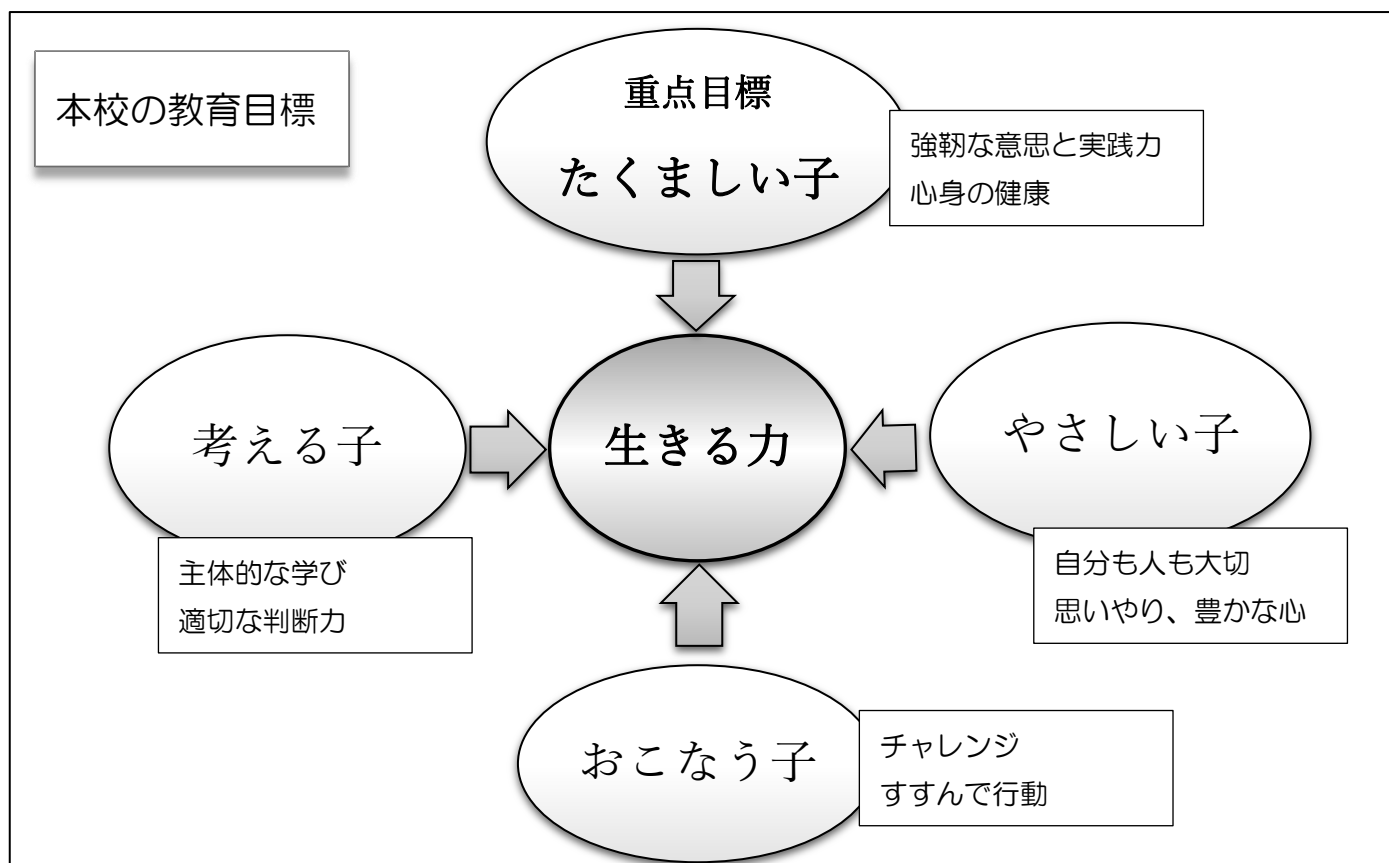


令和4年度 小平第十四小学校の教育について

コミュニティスクールとして、教職員、保護者の皆様、地域の皆様と共に「生きる力」を育み、人と人とのつながりを大切に、笑顔あふれる小平第十四小学校を目指します。

生きる力とは、基礎・基本を身に付けた、知・徳・体のバランスのとれた力のことです。

- ◆「知」確かな学力
- ◆「徳」豊かな人間性
- ◆「体」健康・体力の保持・増進



- 「生きる力」をもった理想の人間像
- 自ら学び、考えて行動する
 - 変化の激しい社会を生き抜く
 - 社会の一員としての自覚をもつ
 - 相互に連携・協力し合う
 - 社会の発展に貢献する

小平市の教育三本柱「自立・共生・貢献」





「生きる力」を身に付けさせるために、次のような取組をします



学力の向上を図ります

- 小学校の義務教育段階では、将来、様々な仕事に就けるような幅広い教養を身に付けさせます。
- 基礎的・基本的な知識・技能の習得に取り組み、3年生以上の算数では習熟度別指導を行います。
- 学習者用端末の日常的な活用を図り、校内研究を中心に授業改善を図ります。
- 教室環境や授業のユニバーサルデザイン化を進め、どの児童にとっても過ごしやすい学習環境づくりや指導方法を工夫改善します。
- 学力調査等を指標にして、実態を把握・分析し、授業改善推進プランを作成・活用しながら、よさを伸ばし課題を改善させる取組や個に応じた指導を工夫します。

豊かな心と健やかな体を育みます

- すすんで挨拶ができ、自他を理解し大切にしている児童を育てます。
- 「特別の教科 道徳」を要として、全教育活動において心の教育を推進するとともに、道徳授業地区公開講座等の実施を通じて、その充実を図ります。
- 伝統文化や福祉体験などを生かして、児童の内面に根ざした豊かな道徳性の育成に努めます。
- 体育授業の工夫改善、外遊びの奨励、体育的活動の計画的な実施等により、運動することの楽しさや上達する喜びを味わわせ、体力や運動能力の向上を図ります。

読書活動、家庭学習の充実を図ります

- 学校、地域の図書館の活用や読み聞かせなどにより読書好きな児童を育てることで、感性や想像力を豊かにし、語彙を増やして表現力を高めていきます。
- 宿題や自主的な学習を内容とし、「10分×学年」をめやすとして、学習習慣を身に付けさせます。

学校行事、体験活動を充実させます（制限がある中でも工夫して）

- 学校だからこそ味わうことができる体験活動や行事を充実させ、協力する楽しさや喜びを味わわせ、児童による自治的な活動を奨励するとともに支持的風土を育みます。
- 6年間を見通した、地域貢献型授業や地域参画型授業の計画的な実施と単元開発を進めます。

安全教育、防災教育を推進します

- 感染拡大を防ぐ校内環境や体制を維持し、感染症を正しく恐れ対応できる児童を育成します。
- 生活安全、交通安全、災害安全等、自分の身を自分で守る姿勢を身に付けさせます。
- 情報モラル教育を家庭の協力のもと行い、インターネット社会に正しく対応できる力を育みます。
- 毎月の避難訓練や小平市総合防災訓練等を通じて、児童の防災意識を高めます。

『人と人とのつながりを大切にする、笑顔あふれる十四小』を目指します

- 児童にとって「学びがい」がある学校
分かる・できる体験や学習を通じて、自分の成長を実感でき、自信をもてる学校。
- 保護者の皆様にとって「託しがいい」がある学校
「行ってらっしゃい。」と送り出したお子さんが、「今日学校でね、…」と、その日あったことを目を輝かせ、笑顔で話すような、安心・安全で信頼される学校。
- 地域の皆様にとって「支えがい」がある学校
「十四小のためなら」とひと肌脱いでいただける、地域を愛し、地域から愛される学校。